

令和 5 年度第 3 回全国健康保険協会石川支部評議会 議事要旨

日時 令和 6 年 1 月 15 日（月）15 時 00 分～16 時 15 分

場所 全国健康保険協会石川支部 大会議室

出席者 評議員（各 50 音順、敬称略）

【学識経験者代表】

森山評議員

【事業主代表】

小野島評議員、八木評議員

【被保険者代表】

坂本評議員、山岸評議員、山口評議員

議事

- (1) 令和 6 年度保険料率について
- (2) 令和 6 年度石川支部事業計画（案）及び保険者機能強化予算（案）について
- (3) その他

議事概要

(1) 令和 6 年度保険料率について

資料 1-1：令和 6 年度保険料率について

資料 1-2：令和 6 年度保険料率について（参考資料）

【被保険者代表】

石川支部保険料率についてはルールに基づいて算出されており、異論はない。また、平均保険料率については大多数の支部が 10%を維持すべきとの意見であり、私も中長期的な視点から 10%を維持すべきと考えるが、引き下げるべきという支部が 1 支部ある。これはどのような理由によるものか。

【事務局】

引き下げるべきという意見は佐賀支部であるが、佐賀支部は全国一高い保険料率が数年続いており、単純に医療給付費が高いことをもって佐賀支部の事業主・加入者に保険料負担を求めることは、相互扶助の観点から容認できないということで、評議員全員の連名で理事長と運営委員会委員長あてに意見書を提出している。

【被保険者代表】

インセンティブ制度の評価指標が令和 4 年度実績の評価から見直されているが、特定健

診や特定保健指導に関する項目の配点が高くなったのはなぜか。

【事務局】

インセンティブ制度は、事業主・加入者の行動変容を促すことにより、加入者が自ら予防・健康づくりに取り組むことで、健康度の向上を図り、将来の医療費の適正化にもつながるよう、保健事業の指標について底上げを図ることを目的としている。そのため、特定健診、特定保健指導に関する項目の配点を厚くしたものである。

【学識経験者代表】

今回の能登半島地震の影響により、今年度の実績に大きな影響が生じると懸念される。インセンティブの評価にあたっては、被災者、石川支部の加入者にとって不利とならないよう配慮をお願いしたい。

【事務局】

現在、能登地方は健診、特定保健指導ともに滞っており、今後の見通しも不明である。今年度の実績にどの程度、影響するのかを注視しながら、支部長として本部に要望したいと考えている。

【学識経験者代表】

現在、後発医薬品自体が不足しており改善の見込みが立っていない中で、使用割合をインセンティブ制度の評価指標としていることについては見直すべきではないか。

【事務局】

運営委員会においても同様の意見が出ており、インセンティブ制度の現行制度の枠組みの在り方については、今後の実施状況等を勘案し改めて検討していくことになっている。

(2) 令和6年度石川支部事業計画(案)及び保険者機能強化予算(案)について

資料 2-1: 令和6年度石川支部事業計画(案)及び保険者機能強化予算(案)の概要

資料 2-2: 令和6年度石川支部事業計画(案)

【被保険者代表】

支部においては限られた人員の中で、困難度が高い目標も達成に向けて頑張っていると感じる。

保険者機能強化予算について今年度に比べ規模が縮小しているように思うが、何か理由

があるのか。

【事務局】

保険者機能強化予算枠については今年度と大きな変更はない。昨年度から一部予算を圧縮し特別枠を設けているが、全体の予算規模に変更はない。

【学識経験者代表】

医療費適正化対策経費として「小学生とその保護者へのジェネリック医薬品切り替え促進通知事業」が挙げられているが、医療機関側へ何か働きかけは行わないのか。

【事務局】

医療機関や調剤薬局へ、ジェネリック医薬品の使用割合などを見える化した通知を送付している。

【学識経験者代表】

小児のジェネリック医薬品の使用割合については、不信感を持つ医療機関側の問題が大きいように思う。加入者への働きかけは必要か。

【事務局】

協会本部の分析結果によると、調剤薬局等の窓口でジェネリック医薬品への切り替えを拒否する加入者の割合が、石川支部は全国に比べ高い傾向にある。ジェネリック医薬品への切り替えが保険料率等に影響することを周知するためにも、加入者への働きかけも必要であると考えている。

【被保険者代表】

自社の従業員に、ジェネリック医薬品の湿布薬を使用した際にかぶれたという話があった。ジェネリック医薬品を使用して支障がある場合、切り替えるのは難しいのではないか。

【事務局】

外皮用薬は、使用感などでもジェネリック医薬品への切り替えを躊躇するという話はある。今後のジェネリック医薬品の品質向上にも期待したい。

(3) その他

令和6年能登半島地震における協会けんぽの対応について、事務局から説明。意見等なし。

傍聴者 : なし
次回開催 : 令和6年7月を予定